

# “ひょうごのハートランド”をめざして



北播磨地域ビジョン委員会では、地域の将来像である、人とまちが元気にきらめき、魅力にあふれた“ひょうごのハートランド”をめざし、各委員が地域像ごとに、5つの分科会に分かれて、様々な活動を行っています。

## 北歩くんの紹介

北歩くんは、北播磨の地形がベースで、かぶと虫がモデルです。

【ユニフォームの色が表すもの】

- 「緑」・・・豊かな自然
- 「青」・・・加古川などの清流
- 「黄」・・・住民の元気や活気
- 「赤」・・・ビジョン委員の熱い思い

第8期北播磨地域ビジョン委員会 委員長 内藤 忠

ある全国ビジネス誌の調査によると都市の「住みよさランキング」において、今年度は近畿のトップ20都市に北播磨から3市がランクインしました。

温暖な気候、恵まれた自然環境、災害の少なさなど、北播磨地域の住みよさはふだんから感じるどころですが、一方で住んでみたい、住み続けたい街となっているのでしょうか。

都市の大小に関わらず、住んでみたい、住み続けたいと言われる街には地域の魅力に裏付けられた活力があふれているように思います。

私たちビジョン委員は、住民自らが地域の魅力に気づき、誇りを持ち、交流を通じて地域内外に広めていく活動を進めています。こうした活動は地域を大切に思う皆さんと一緒に進めてこそ目を見張る効果が出てまいります。魅力あふれる北播磨地域をつくる活動への積極的なご参加をお待ちしています。



発行 平成30年2月

北播磨地域ビジョン委員会広報部会(北播磨県民局総務企画室ビジョン担当)

〒673-1431 加東市社字西柿1075-2

TEL (0795) 42-9513 FAX (0975) 43-0169

ホームページ

北播磨地域ビジョン委員会 [検索](#)





# 交流が広がる分科会

～「まちむら交流」で活力を育む地域をめざします～



里歩きや体験型イベントを通じて、世代を超えた交流を図るとともに、ふるさと北播磨の自然環境を楽しむスポットを再発見し、その魅力を地域の内外にPRします。

## 【ウォーキングイベント開催】

平成29年4月16日(日)、三木市吉川町の北谷川桜堤でウォーキングイベントを開催しました。北播磨地域を中心に、53名の方に参加いただきました。満開の美しい桜堤を歩いた後は、筍の丸焼きや筍ご飯をみんなで美味しくいただきました。

これからもふるさと北播磨の自然環境を楽しむスポットを再発見し、その魅力を積極的にPRしていきます。



## 【北歩くん奮闘！】

北播磨地域ビジョン委員会のイメージキャラクター「北歩(ほっぽ)くん」が、「うれしの春のフェスティバル」(平成29年5月4日)や、「はりちゅうの日」(平成29年11月19日)などの地域イベントに参加し、地域ビジョンの普及を図りました。



## 【北播磨の魅力の発信と交流人口を増やします】

北播磨の自然豊かな公園でゲームを楽しもう。

NPO法人 This is MIKI、三木甲冑倶楽部による兜作り教室にスタッフとして参加しました。(平成29年8月19日)

また、三木甲冑倶楽部主催のチャンバラ大会を応援し、地域内外からの参加者の交流を深めました。(平成29年11月25日) 今後も、北播磨らしい新たな交流型ゲームを提案していきます。



# 生活(くらし)の絆が深まる分科会

～家族・地域・生活(くらし)の絆を深め、絆の力で安全・安心を支える地域をめざします～

## 【防災日めくりカレンダーの制作】

子どもたちの防災意識を高め、子どもたちが自ら地震や風水害などの災害に備え身の安全を確保できるよう、「防災日めくりカレンダー」を作成しました。掲載の標語は県民の方からのアンケートで寄せられたものをもとにビジョン委員が分科会で検討して選定しました。

大人から地域の子どもの伝えたい安全についてのメッセージを掲示することで、子どもたちの防災への関心を高めるとともに、子どもたちが日々の生活の中で無理なく安全について学んでいくことをねらいとしています。



この防災日めくりカレンダーは北播磨地域の子ども教室や学童保育の86ヶ所などに130冊配付しました。指導員の皆さんに、一言添えていただくことで、子どもたちの関心が持続し防災への学びが深まっています。

避難前  
火の元一度  
確かめて(12日)



火事の時 頭を低く  
口をふさいで避難  
する(14日)



寝る場所は  
転倒防止対策  
忘れずに  
(23日)

## 【広域防災センターの視察・体験学習】

平成29年5月6日、三木市の兵庫県広域防災センターを見学しました。

広域防災センターの防災教育専門員から、地域防災について説明を受けた後、起震車による地震体験や、煙避難体験、備蓄倉庫の見学をしました。



防災のこと  
普段からもっと  
考えよう!



## 【防災体験子どもツアーの検討】

「防災日めくりカレンダー」の活用を通じて防災意識の高まった子どもたちに、さらに効果的な啓発を行います。

兵庫県広域防災センターを訪れビジョン委員自らが体験し学んだことをもとに、カレンダー配付先の子どもたち対象の防災施設見学会の開催を検討しています。



# 文化が花開く分科会

～芸術・文化を暮らしに活かす地域をめざします～

## 【北播磨らしい“音風景”を使って地域の魅力を発信しよう!】

### 「北播磨の音風景50選」の制作と発信

委員自らが選定し、自身の手で北播磨の風景写真とその音を収録。これらを併せて、加東ケーブルビジョンの協力を得て「音風景」を制作しました。兵庫県ホームページやFacebookに掲載することで、県内外に北播磨の魅力を広く発信します。また、この音風景を活用したイベント開催も検討しています。



加東市・闘龍灘



加西市・ハッピーバルーンフェスティバル



西脇市・黒田庄和牛



小野市・出雲国伊勢大神楽



西脇市・織物祭神事



多可町・余暇村公園滑り台



加東市・東光寺大日祭



三木市・大宮八幡宮鬼追い式

## 【北播磨らしい文化や歴史に触れて地域の魅力を発信しよう!】

### 「湯の山街道と三木周辺の歴史探訪」

一般参加者ととも三木市の歴史資源や文化資源を巡るバスツアーを開催しました。(平成29年10月26日)  
“地域のお宝”を再確認し、その魅力を発信しました。



出発



御坂サイフォン



志染の石室



旧玉置家住宅



みき歴史資料館



湯の山街道

### 音録り作業の様子



### 【現代美術講座の開催】

ニューヨーク・グッゲンハイム美術館でのインスタレーションをはじめ、世界的に注目を浴びる美術家 向井修二さんを講師に招いて「現代美術講座～価値の上塗り～」を開催。(平成30年2月16日)

# 恵み豊かな環境が持続する分科会

～北播磨が持つ豊かな自然・生態系の調和した暮らしが持続する地域をめざします～

## テーマ：知っていますか？北播磨の自然環境

有害鳥獣をはじめとする環境面の地域の現状を把握し、被害減少に向けて意識向上を図ります。また、知っているようで知らなかった北播磨の自然環境の再認識を通じ、北播磨の自然環境の良い点や問題点を見つけ、北播磨の自然環境の素晴らしさを発信しました。

### 【有害鳥獣被害の把握】

兵庫県森林動物研究センターの視察や兵庫県加東農林振興事務所からの説明を通じて、兵庫県の野生動物の現状、鳥獣対策制度、北播磨地域の害獣被害状況や捕獲頭数、獣害防止柵設置状況、捕獲方法、効果のある対策などについて学び、分かりやすくパネルにまとめました。



### 【素晴らしい自然環境を体験】

宍粟市森林セラピーでは、目隠しをして行う「森林ウォーク」や、木立の中での「森林スリープ」などのプログラムによる森林セラピーを体験し、自然の素晴らしさを委員自らが五感で感じ取りました。



北播磨の豊かな自然環境を大切に守っていきましょう!



### 【「ひょうごの森のまつり」での発信】



平成29年11月5日、多可町で開催された「ひょうご森のまつり」にブースを出展。今までに調べた害獣被害状況や捕獲頭数をまとめたパネルや、森林セラピーを体験して感じた自然の素晴らしさを伝えるためのパネルを展示しました。また、県森林動物研究センターの協力で、イノシシの親子のはく製を展示し、有害獣に関するパンフレットやパネル展示を通じ、有効な防除方法をお知らせしました。

協力団体「ビーバークラブ」、「涼月会」にもブース出展を依頼し、「ビーバークラブ」は豊かな森で育った木材を活かした木工体験を、「涼月会」は森をテーマにしたライブペイントを行いました。





# 元気な産業が興る分科会

～多様な産業が活性化し、だれもが生きがいを持って働ける地域をめざします～

- 安全、安心な有機肥料「HYS低温発酵有機資材 保田ぼかし」を利用した有機農業の学習、実践活動を通じて、有機農業の普及と安全・安心な農産物の魅力の発信に努めます。

## 【保田ぼかしによる健康野菜づくり勉強会】

神戸大学名誉教授の保田茂氏が開発した「HYS 低温発酵有機資材 保田ぼかし」の勉強会を、5月から12月まで年8回のシリーズで開催し、有機農業による野菜づくりの普及と美味しく安心・安全な野菜の魅力を伝えました。

農業を営んでおられる方、家庭菜園を楽しんでおられる方、消費者の方など多くの方々の参加があり、毎回熱心に学習されていました。



### 《勉強会の内容》

- ①有機農業の考え方と方法
- ②土づくりの理論と方法
- ③堆肥の効用と利用
- ④ぼかしの効用と利用
- ⑤野草の効用と利用
- ⑥土と野菜の関係
- ⑦化学肥料と農薬の問題点
- ⑧有機農業の時代

## 【人と環境に優しい有機農業講座】

平成29年7月28日、兵庫県農政環境部農業改良課参事西村いつき氏を講師に招き、約60名の参加のもと「コウトリ育む農法」の推進にまつわる話や、具体的な栽培技術についての講座を開催しました。

平成30年3月2日には、保田茂氏を講師に招いての講座を開催します。



## 【保田茂氏有機農業圃場 現地見学会】

「保田ぼかしによる健康野菜づくり勉強会」で学んでいる皆さん47名で、豊岡市にある保田茂氏の圃場を見学しました。(平成29年11月6日) 現地では保田茂氏、西村いつき氏からの説明や質疑応答があり、午後は「おおや有機農業の学校」を訪れました。



## 【「農」と「食」の祭典へのブース出展】

「保田ぼかし」についての説明と、「保田ぼかし」を用いた有機農法で栽培した野菜の展示販売を行いました。(平成29年10月28～29日)

- 食と農に関心を持つ地域の若者を、農業の六次産業化に熱心な企業、グループに繋いでいきます。



六次産業応援者向けマップ



## 【六次産業マップの活用】

六次産業応援者向けマップ掲載の事業所と、北播磨地域の食や農に関心の深い高校生との思いを繋げる「協働」の具体化を検討しました。

六次産業化につながる実践例として、兵庫県立播磨農業高等学校園芸科・果樹コースを訪問し栽培実習の進め方、地域を支える高校に期待される役割などについて説明を聞き、実際に農園でブドウ生育の状況などを見学しました。(平成29年7月6日)

僕のFacebook「北歩くんが行く」も見てね。



# 北播磨地域夢会議

北播磨地域の将来像の実現に向けた取り組み等について、地域ビジョン委員と地域の方々が集まり、意見交換を行う「北播磨地域夢会議」を毎年開催しています。

平成29年度

## 「未来に繋がる私たちの北播磨

～兵庫の2030年を展望して～

- 1 日時 平成29年11月26日(日) 13:00～16:10
- 2 会場 加東市やしろ国際学習塾大会議室
- 3 内容 ○北播磨地域ビジョン委員会分科会活動報告

○「兵庫2030年の展望」の説明

○グループディスカッション

コーディネーター：兵庫教育大学大学院准教授 森田 啓之

○グループディスカッションの結果発表、会場からの意見を交えて全体討議



北播磨地域のデータ資料や「兵庫2030年の展望」をもとに、北播磨の望ましい未来像について、テーマ別に8つのグループに分かれて意見交換。各グループとも、次代の子供たちを育てるための自然環境、文化環境、農産物、防災、人的資源、国際交流などの様々な分野で活発な意見が交わされました。